

●主な内容●
 2面…イベントのお知らせ
 3面…シリーズ 新「府中市史」編さん
 4面…小中連携・一貫教育

●発行元●
 府中市教育委員会事務局 教育部教育総務課
 TEL 042-335-4424 FAX 042-334-0946
 ●ホームページ●
<http://www.city.fuchu.tokyo.jp/kyoiku/index.html>

ふちゅうの教育

2学期から新しい学校給食センターで給食を提供します!

学校給食センターは老朽化等の問題から建替に取り組んできましたが、6月末に完成予定で、2学期(9月1日(金))から市内の全市立小・中学校に給食を提供します。

それに先立ち、8月30日(水)に、本番前の練習として各学校へ給食を提供し、児童・生徒に食べていただきます。(なお、白糸台小学校は9月1日始業式のため除きます。)なお、この分の給食費は市で負担します。

新学校給食センターのイメージキャラクターに1,000件を超える応募がありました!!
考えてくれた皆さんありがとうございました。
この中から最優秀賞を決定し、今後、給食の配送車などに活用していきます。



(新学校給食センターの5月15日時点の状況) 6月末の完成に向け引き続き工事を進めています。

新しい学校給食センターの特徴

- 場所は、府中市朝日町で、東京外国语大学の近くです。
- 1日最大22,000食の給食提供が可能です。(日本一の規模です。)
- 衛生管理を徹底し、食中毒等の発生リスクをおさえます。
- 新たにセンターで炊飯を行うほか、新しい調理機器も導入するので、料理のレパートリーが増えます。
- アレルギー対応専用調理室を設けるなどアレルギー対応を充実します。
ただし、対象品目の拡大(えび・かに、乳・乳製品)は平成30年度からになります。
- 小学校調理は民間に委託しますが、食材選定や献立作成は市の栄養士が行います。
- 新給食センターでは、保護者の方の施設見学やその場での試食も可能となります。
詳細につきましては、後日改めてお知らせいたしますので、ぜひ、一度お越しください。



教育広報が変わりました

府中市の教育について、昨年度まで「教育委員会だより」として、白黒・A4判で発行していましたが、今年度より、発信力強化のため、新たに「ふちゅうの教育」として、フルカラー・タブロイド判で発行することとなりました。

教育委員会の組織が変わりました

教育部 総務課 ⇒ 教育総務課・学校施設課
 文化スポーツ部
 文化振興課・生涯学習スポーツ課
 ⇒ 文化生涯学習課・スポーツ振興課



イベントのお知らせ

■ 第32回府中市青少年音楽祭

【日 程】平成29年8月26日(土)・27日(日)
 【会 場】府中の森芸術劇場どりーるホール
 【費 用】入場無料



市内で活動する青少年の音楽団体が日頃の練習の成果を発表します。

26日は、和太鼓やオーケストラなど合奏の部です。27日は、児童合唱や混声合唱など合唱の部です。

音楽祭の最後には、日本の音楽界を代表する講評者による全体講評もあり、最後まで見逃せない展開となっています。さまざまなジャンルの演奏をお楽しみいただけますので、ぜひご来場ください。

【問合せ】文化生涯学習課 文化振興係(335・4464)

■ 第53回府中市民芸術文化祭

【日 程】平成29年9月3日(日)～11月19日(日)
 【会 場】府中の森芸術劇場ほか市内各会場
 【費 用】観覧無料(一部参加有料)



市内で活動する文化団体が、各会場で日頃の活動の成果を発表します。文化団体には、文芸・美術・音楽・舞踊・演劇演芸・生活文化の

様々な分野があり、催物によっては、一般の方も観覧だけでなく、実際にご参加いただけます。詳しくは8月1日号広報ふちゅうにて周知します。

【問合せ】文化生涯学習課 文化振興係(335・4130)

■ 第24回府中市生涯学習フェスティバル

【日 程】平成29年9月9日(土)・10日(日)
 【会 場】府中市生涯学習センター
 【費 用】入場無料



市民の日ごろの学習成果を発表の場として生涯学習フェスティバルを開催します。市民作品展、市民発表会、

サウンドフェスティバル、ワークショップなど、地域間、世代間の交流を促進するとともに、「学び返し」を推進するイベントを行いますので、ぜひ、ご来場ください。

【問合せ】文化生涯学習課 生涯学習係(335・4394)

中央図書館の夏休み

■ 夏休み読書キャンペーン「この本よんだかい?」

【日 時】7月15日(土)～8月31日(木)
 【対 象】中学生以下
 【内 容】貝のかたちのカードに好きな本のことを書いてもらいます。掲示します。参加者にはぬりえのプレゼントがあります。あわせて夏休みのおすすめ本の展示、リストを配布します。



■ 図書館講演会

「地球はどうぶつでいっぱい～あべ弘士さんと動物の絵を描こう！～」

【日 時】7月22日(土)午後2時～4時
 【対 象】小学生～一般(申込制)
 【内 容】元・北海道旭山動物園の飼育員で、現在は人気絵本作家のあべ弘士さんに聞く、動物と動物園のお話。

■ 図書館探検隊(小学生向けガイドツアー)

【日 時】7月26日(水)・8月23日(水)
 午前10時～／午後2時～(各回約1時間)
 【対 象】小学生(申込制)
 【内 容】館内見学

■ 小学生のためのブックトーク「よむよむ探検隊」

【日 時】7月29日(土)午後3時～3時45分
 【対 象】小学4～6年生で先着30名(当日受付)
 【内 容】一つのテーマに沿って、6～7冊程度の本を紹介します。

■ 図書館員体験ツアー

【日 時】7月30日(日)・8月20日(日)
 午前10時～／午後2時～(各回1時間半)
 【対 象】小学生(申込制)
 【内 容】図書館お仕事体験

■ 夏のお楽しみおはなし会

【日 時】8月3日(木)午後3時半～4時半
 【対 象】3歳～小学生(当日受付)

■ 夏休み朗読会「朗読だから面白い！真夏の怪談話」

【日 時】8月5日(土)午後2時半～4時
 【対 象】小学3年生以上
 【内 容】古典から現代の怪談話の朗読

■ 科学あそび 「煮干しの解剖と チリメンモンスターをさがせ！」

【日 時】8月10日(木)午後2時～4時
 【対 象】小学生(申込制)
 【内 容】小学生向け科学実験と本の紹介

【問合せ】中央図書館(362・8647)

■美術館 浅野竹二の木版世界

心から笑える！ユーモアたっぷり！楽しい浅野竹二の木版画をご紹介します。浅野は、1900年京都に生まれ、日本画から出発し木版画家となり、日本全国の名所を柔らかく、優しく、明るく描き人気を博しました。そして、1960年、アメリカの画家ベン＝シャーンが浅野の自宅を訪ねたことがきっかけとなり、浅野の中のユーモア精神に火がつきました。笑いとおかしみの中に、人生の喜びと悲しみがあっけらかんと織り込まれています。

【日 程】5月20日(土)から7月2日(日)

【時 間】午前10時から午後5時(入場は午後4時半まで)

【休館日】月曜日

【観覧料】一般400円(320円)、高校生・大学生200円(160円)、

小学生・中学生70円(50円)、／()内は20名以上の団体料金／未就学児、障害者手帳等をお持ちの方は無料／市内の小中学生は「学びのパスポート」をご利用ください

【問合せ】美術館(336・3371)



△浅野竹二《猫と鳥》1977年 府中市美術館蔵

■美術館 教員研修会の紹介



府中市美術館は、児童・生徒の学習の場として利用されるだけでなく、学校教員にも指導の研究や研修の場としても活用されています。

小学校の図画工作科や中学校の美術科では、美術鑑賞教室を始めとして、様々な鑑賞教育が行われています。府中市は美術館があることで、実作品を前にしてギャラリートークもしやすく、美術鑑賞に取り組む機会が多いといえるでしょう。子どもたちに充実した鑑賞体験を提供できるよう、先生方も日頃から研究や研修活動を行っています。

実際に子どもたちが来館しての公開授業の開催、夏休みには鑑賞だけでなくワークショップの活動も行っています。美術館と学校が緊密に連携しながら、子どもたちが美術に親しむ機会を広げています。

【問合せ】美術館(336・3371)

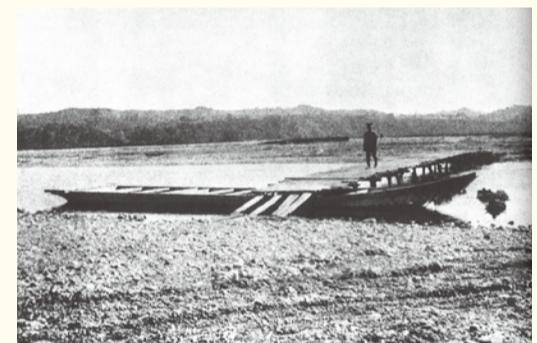
△3月に開催した鑑賞公開授業の様子

シリーズ 新「府中市史」編さん (3)

市史編さんで歴史的な史資料を調査し、地域の歴史を考え直してみるために、さまざまな視点から理解を深めていくことが必要になります。ここでは例として「多摩川」をテーマにして、府中の歴史との関わりについて考えてみましょう。

まず府中の地形についてです。府中市の市域は、ほとんどの部分が日本列島に人類が現れるより前からの、長い年月をかけた古多摩川の流れによって削り出された平らな地面の上に立地しています。大きな山などの障害物がないテラスのような平たんな土地は、人間が安全で快適に暮らしてさまざまな活動をするのにとても便利な環境となりました。府中市域では先史時代から武藏国府の時代を経て現在に至るまで、さまざまな時代の人々が連続と暮らしていましたが、古多摩川がつくった“平たんで安定した大地”があったからこそ、長きにわたって生活の舞台となったといえるでしょう。

次に多摩川と人々の移動について考えてみましょう。多摩川の上流に小河内ダムがなかった頃の川の水量は、現在とは比較にならないほど豊富でしたから、この流れを利用した物資の運搬が行われていました。たとえば多摩川の上流域で伐採された木材は、近世に至るまでいかだに組んで川で運ばれていましたが、運搬手段が発達していなかった時代には、川は水の浮力を使って重量物を運ぶことができる貴重な交通手段になっていたのでした。



一方で、多摩川の流れは人々の移動を阻むものもありました。たとえば中世の府中で何度も発生したいくつもの合戦は、軍勢の渡河と深い関係があったと考えられます。軍勢が武藏野台地を陸路移動てきて、さらに多摩丘陵の方に向かおうとするなら、どうしても多摩川を渡らなければなりません。橋が架けられていなかった時代には渡し船も使われましたが、水量が多い大きな河川を渡河することは馬に乗っていてもとても大変困難なことで、川が増水していれば水が引くまで足止めもされたことでしょう。ただし冬場の渇水期には土や板で作った簡単な橋を架けられることがあり、冬場は比較的容易に渡河できたようです。

最後に多摩川が与えてくれた恵みについて考えてみましょう。まず多摩川でとれる水産資源は貴重な食料となりました。たとえば近代に至るまで府中では伝統的にアユ漁がおこなわれてきましたが、こうした漁労活動はどの時代にも行われていたに違いありません。また稻作が始まってからは多摩川の豊かな水は水田に引き込まれ、コメ作りの大重要な資源となっていました。近世の府中の人々が水田に水をもたらす用水の整備や維持に何よりも熱心だったことは、当時の古文書にも記されています。府中の人々にとって多摩川は食料を直接採取する場であり、食料を生産するための資源としても重要で、日々の生活と密着したものでした。

さて今回は「多摩川」を例にいろいろ考えてみましたが、このように府中の歴史を考える視点はたくさんあります。さまざま視点から総合的に歴史を考え直してみることが、市史の内容を豊かにするために必要なのです。

両写真：『むかしの府中』より 【問合せ】ふるさと文化財課市史編さん担当(335・4376)

お知らせします 平成29年教育委員会可決議案(1月～4月分)

- 第1号議案 臨時代理による処理の承認を求めることについて
(平成29年度使用教科書における学校教育法附則第9条による一般図書の変更について)
- 第2号議案 平成29年度予算に対する意見の聴取について
- 第3号議案 平成28年度府中市教育委員会表彰について
- 第4号議案 府中市学校施設老朽化対策推進協議会(仮称)の設置に係る条例の改正の申出について
- 第5号議案 府中市立学校給食センターの新設に伴う位置等の変更に係る条例の改正の申出について
- 第6号議案 平成29年度学校医等の委嘱について
- 第7号議案 府中市教育委員会教育長の権限に属する事務の一部委任に関する規則の一部を改正する規則
- 第8号議案 平成28年度一般会計補正予算(第3号)に対する意見の聴取について
- 第9号議案 府中市立学校長及び副校長の東京都教育委員会への任命内申について
- 第10号議案 府中市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則

- 第11号議案 平成29年度学校医等の変更及び決定について
- 第12号議案 平成29年度府中市美術館企画展観覧料について
- 第13号議案 府中市教育委員会の保有する公文書に対する開示請求について
- 第14号議案 府中市教育委員会事務局職務権限規程の一部を改正する規程
- 第15号議案 府中市教育委員会事務局職員の人事異動について
- 第16号議案 組織改正に伴う関係規則の整理に関する規則
- 第17号議案 組織改正に伴う関係規程の整理に関する規程
- 第18号議案 府中市学校施設老朽化対策推進協議会規則
- 第19号議案 府中市教育情報セキュリティ基本方針について
- 第20号議案 第8期府中市生涯学習審議会委員候補者について
- 第21号議案 平成29年度・平成30年度府中市スポーツ推進委員候補者について
- 第22号議案 府中市教育委員会事務局職務権限規程の一部を改正する規程
- 第23号議案 平成30年度使用教科用図書採択に関する方針について
- 第24号議案 第8期府中市生涯学習審議会諮問事項等について

平成28年度職場体験事業を実施しました

将来、社会人となる中学生が、望ましい社会性や勤労観、職業観を身に付けるため、市内中学校11校に在籍する2年生が、協力いただいた店舗や事業所に赴き、職場体験を行っております。

平成28年度では、約1800人の生徒が体験を行いました。生徒たちは職場体験を通して、仕事の苦労や大変さ、やりがいなどを実感すると共に、自身の将来について考える貴重な体験となりました。

ご協力いただきました店舗、事業者の皆様、ありがとうございました。ご協力いただきました店舗、事業者の一覧は、ホームページをご覧ください。<http://www.city.fuchu.tokyo.jp/kyoiku/index.html>



府中市立学校の小中連携・一貫教育

教育委員会では、全市立小中学校を11の中学校区に分けて、小中連携、一貫教育を推進しています。「学び」「育ち」の視点を中心として、小・中学校それぞれのよさを組み合せることにより、児童・生徒が義務教育9年間を終え、次のステップへ進むために必要な力を一層高めていくことを目指しています。

中学校区での実践例

平成27・28年度 府中市教育委員会研究協力校（第一中学校区=府中第一中学校・府中第一小学校・府中第九小学校）の研究実践の一端を中学校区での実践例としてご紹介いたします。

小中連携を推進するための組織とその役割を明確にして、小中学校の教員同士が共通の課題意識の下に共通の取組ができるように工夫しています。

府中第一中学校、府中第一小学校、府中第九小学校で取り組む小中連携実施計画

府中第一中学校区で目指す児童・生徒像 平成27年度に作成完了 → 平成28年度 指導連携内容の検討と具体的な実践の開始 → 評価は、生徒アンケート、教員アンケート実態調査で実践する。

児童・生徒一人一人の豊かな心の育成並びに学力向上を通して、自分自身の個性の伸長を図りながら、夢や希望の実現に向け、主体的に学校生活を送ることができる子供の育成

府中第一小学校

府中第九小学校

府中第一中学校

評価の実施
○実践内容の取組状況、内容について、検証を行う。

推進委員会

管理職、教務主任、生活指導主任、小中一貫教育コーディネーター

○各連携の日の前に連携協議会での実践内容・協議会内容について検討する。年間3回

○夏季休業期間中、3学期後半に、小学校実施会・次年度に向けての取組内容について協議する。年間2回

○各校が作成した目指す子供像、具体的な連携内容について意見交換を行い、具体的な取組内容を検討する。

○実践状況評価項目・方法の検討と実施

市・都・国 の学力調査の活用

児童・生徒アンケート

コーディネータ会議

3校の小中一貫教育コーディネーターで構成

小中一貫教育コーディネーターの役割

①府中第一中学校区小・中連携事業の推進

③小学校への出前授業計画等の作成・推進

②3回の連携事業の実施に向けての連絡・調整

3校の小中一貫教育コーディネーターで構成

①各校のコーディネーター、管理職、教務主任、生活指導主任による検討委員会を実施し、府中一中学校区事業の推進を図る。

②各連携日の前に、事前の検討協議を実施し、各連携日の協議内容について確認・調整を実施する。

③中学校の小学校への出前授業の実施の検討や日程調整を行う。例：陸上記録会に向けての練習会の実施。数学・理科・英語などについての出前授業・TTによる授業の推進。その他、中一ギャップや不登校の改善に向けての取組。

市・都・国 の学力調査の活用

小中連携協議会

府中第一小学校
府中第九小学校
府中第一中学校

学び ○国語 ○算数・数学 ○外国語活動・英語 ○総合的な学習の時間（ふるさと学習）

育ち ○基本的生活習慣の確立 ○授業規律

○生活日課表の記入 ○家庭学習 ○体力向上

○特別支援教育

目標する児童像、生徒像の検討

各校ごとに連携内容の具体化、実践

学校適応の推進

府中第一中学校区の目指す生徒像の具現化・生徒一人一人の社会的自立

中学1年生と小学6年生に「入学後に困ったこと（中学生）・不安に感じていること（小学生）」
「中学校入学前に小学校で取り組んだ方がよいこと（小・中学生）」などのアンケートを取り、
児童・生徒が小学校から中学校への進学時に考えたり、感じたりしていることを踏まえて、必要な連携内容を検討しています。

平成29年度の取組

学校と教育委員会とが連携しながら、小中連携、一貫教育の一層の充実に取り組みます。

指導連携の一層の充実

（授業規律の明確化・挨拶運動の実施などの小中学校が連携した取組の充実）

新学習指導要領を踏まえた小・中学校のカリキュラム接続の検討

小中連携を推進する中学校区内の組織の確立

* 兼務発令（第一・第二・第七中学校）による異校種間の協働体制の促進

小中連携・一貫教育の推進

